

苫前町内会でイベント用テーブルチェア等を購入 ～コミュニティ助成事業で整備～

苫前町内会では、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により、イベント用テーブルチェア、照明器具を整備しました。

この助成事業は、同センターが全国自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、住民のコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報を目的に行われるものです。催事等で有効に活用させていただきます。



協会けんぽ北海道支部からのお知らせ

【平日・日中の受診を心がけましょう】

休日や夜間に軽症の患者が安易に医療機関へ受診すると、一刻を争う救急患者の受け入れなどに支障が生じてしまいます。

また、休日や夜間などの診療時間外に医療機関を受診すると、割増料金がかかります。

休日や夜間などの診療時間外は、緊急性の高い場合に受診し、緊急性の低い場合は平日の診療時間内に受診することが、日本の医療体制を守ることや医療費の節約につながります。

【年に一度は健診を受けましょう】

協会けんぽ北海道支部では年度内に1回、加入者の皆さまの健診費用の一部を補助しています。

35歳～74歳の被保険者(ご本人)さまへは、がん検診を含めた充実した健診項目の「生活習慣病予防健診」を、40歳～74歳の被扶養者(ご家族)さまへは、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査」の2つの健診をご用意しております。

また、生活習慣改善のために、メタボリスクの高い方に保健師による健康サポート(特定保健指導)を実施しておりますのでこちらもぜひ、ご活用ください。

問合せ先 全国健康保険協会(協会けんぽ)北海道支部 ☎011-726-0353(代表)

「地域住民と創る道有林」開催のご案内

留萌振興局森林室では、道民の財産である道有林について、地域の皆さんと一緒に考え、管理していくために現地検討会を開催します。

開催日時 令和3年9月17日(金)※小雨決行 9時30分～15時00分

集合場所 留萌振興局 2階講堂

現地検討 小平町、初山別村の道有林内(公用車移動)

参加料 無料

申込期限 令和3年9月8日(水)まで(土・日曜を除く)

申込先 留萌振興局 森林室 森林整備課 ☎0164-42-8462



令和4年度 北留萌消防組合職員採用資格試験応募者受付中

試験区分 一般消防職員 救急救命士資格取得者又は取得見込み者

受験資格

- 一般消防職員 【年齢】令和4年4月1日現在の年齢が満26歳以下の方

- 【学歴】高等学校卒業(短大・専門学校・大学卒業)

- 救急救命士資格取得者又は取得見込み者

- 【年齢】令和4年4月1日現在の年齢が満26歳以下の方

- 【資格】救命士資格者及び第45回救急救命士国家試験合格者

受付期間 令和3年7月27日(火)から令和3年8月31日(火)まで

※郵送の場合は令和3年8月31日消印まで有効

試験日時 令和3年9月14日(火)

- 一般消防職員 9時30分～17時30分

- 救急救命士資格取得者又は取得見込み者 11時00分～17時30分

試験会場 北留萌消防組合消防本部(苫前郡羽幌町南5条4丁目6番地)

問合せ先 北留萌消防組合消防本部(苫前郡羽幌町南5条4丁目6番地) ☎0164-62-1220

北留萌消防組合消防署庶務課(苫前郡羽幌町南5条4丁目6番地) ☎0164-62-1246

北留萌消防組合消防署古丹別支署(苫前郡苫前町字古丹別254番地) ☎0164-65-4119

アイヌの関係者の皆様の、森づくりへのご意見・要望を受付しています

留萌管内の市町村、森林組合及び宗谷管内幌延町では、るもい森林認証協議会を組織して、森林認証の取得を進めることで、市町村有林及び私有林の持続可能な森林経営の取組を進めています。

「森林認証」とは、一定の基準を満たす森林経営を認証し、その森林から生産された木材製品（紙含む）には認証のラベルが付与される制度です。

SDGsの目標分野の「15陸の豊かさを守ろう」にも貢献する制度です。

るもい森林認証協議会では、次の三点を主な方針として定め、森林管理を進めます。

- 地球温暖化の防止、水土保全、生物多様性の保全などに努め、持続可能な森林経営を目指します。
- 管理計画等情報を公開し、生物多様性の保全などに関わる研修を充実させ、森林管理レベルの向上を図ります。
- アイヌ民族の歴史、文化の保護に努めます。それらを確保するため、アイヌの人々や地域組織と必要に応じて協議を行います。

森林管理の進め方などについてご意見・要望などがありましたら、10月15日(金)までにお寄せいただきますようお願いいたします。

なお、森林管理計画書や関連するマニュアル、事業予定地など詳しい内容についてはお問い合わせください。

【問合せ先】

るもい森林認証協議会事務局（遠別初山別森林組合内） ☎01632-7-2412
 苫前町農林水産課水産林務係 ☎64-2314

JA北海道厚生連 苫前厚生クリニックよりお知らせ

皮膚科 外来日は

8月：8月19日(木)

9月：9月2日(木)、16日(木)、30日(木)

大変混み合いますので、なるべく事前の電話予約をお願いいたします。不明な点がありましたら電話でお気軽におたずねください。

受付
13時～
16時15分

管理栄養士による

「今日からあらためる食事療法・なんでも相談」

内科の予約診療です

9月：9月15日(水)

詳細な日程等については電話で直接お問い合わせください。

月2回、栄養士が対応します。医師の診察があります。



JA北海道厚生連 苫前厚生クリニック (TEL 65-3535)

苫前町の交通事故情報

令和3年7月の事故状況

発生件数 1件 死者数 1件 負傷者数 0件

令和3年7月までの累計

発生件数 2件 死者数 1件 負傷者数 1件

交通事故死ゼロ日数は

7月31日現在で20日

風力発電の売電状況

(町営風車「風来望」)

令和3年7月分の実績

供給電力量 116,640kWh
2,309,472円

8月 町税の納期

今日は、

町道民税
国民健康保険税

の納付月です。

納期内納入にご協力願います。

氏名	年齢	死亡日	住所
大川 和二	86	7月10日	力 昼
新庄 暢浩	87	7月7日	古丹別
佐々木 暁子	83	6月29日	旭
宮本 兵一	77	6月27日	古丹別
村上 雅恵	97	6月25日	旭
年代眞之助	86	6月24日	古丹別
岩田 博一	88	6月22日	旭
石川 弘	86	6月19日	香 川
若狭 成寿(三男)	泰葉 6/28		旭

ご成長をお祈り申し上げます

戸籍の小箱

上平町内会へ
 ○旭 藤井美代子様
 古丹別町内会へ
 ○古丹別 年代好子様
 町社会福祉協議会へ
 ○古丹別 年代好子様

ご厚志に感謝します

議会だより

No.124

苫前郡苫前町字旭37番地の1

令和3年 第2回定例会

一般会計補正額	4,863万6千円
一般会計総額	43億4,840万6千円
介護保険特別会計補正額	23万8千円
介護保険特別会計総額	4億4,934万5千円
簡易水道事業特別会計補正額	2万1千円
簡易水道事業特別会計補正総額	4億2,503万5千円

今補正の主な事業

【一般会計補正予算】

- コミュニティセンター管理費
- 低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業
- 未来港公園改修工事

【介護保険特別会計補正予算】

- 臨時保健師報酬

風力発電事業収益からの 町民還元策 第2弾

生ごみ処理手数料の減額

令和3年第2回定例会は、6月16日に招集され、会期を17日までの2日間と決定。
一般質問は、伊藤議員、早川議員、磯崎議員の3名が行い、町長提出の条例5件、予算3件、報告2件、同意1件と議員提出の意見案1件、その他2件について審議、全て原案どおり可決し、会期を1日残して16日に閉会した。

主な議案と質疑

固定資産評価審査委員会条例の一部改正
行政手続の見直しに伴う押印の廃止等

特別職給与の減額に関する条例の一部改正

過去に行われた不適正事務の責任を明らかにするため副町長の給料を令和3年7月1日から3ヶ月間10%減額

手数料条例の一部改正
法改正に伴い、個人番号カードの再交付手数料の規定を削除

町営住宅条例の一部改正
法改正に伴う一部引用部分の削除

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

風力発電事業収益の町民還元策として、生ごみ処理手数料を減額

質 伊藤議員

町民還元は歓迎するが、クリーンな環境を目指すならば、次世代にバトンタッチできる物品または継続して利用できるコンポストや生ごみ処理機等に転換すべき。

答 平井住民生活課長

コンポストは以前助成していたが、キツネの被害が問題となり実施していない。ごみ処理機は今後検討する。町民に対し広く還元するため手数料減額とした。



生ごみ袋

一般会計補正予算

質 田沢議員

有価証券売却収入の内容は、両島運輸の株売却分。

答 成川総務財政課長

質 田沢議員

未来港公園管理棟テナント屋根改修工事は、全面ではなく一部改修出来ないのか。

答 星建設課長

経年劣化のため、部分的な修繕ができない上、先を見据えて全面改修することとした。

工事請負契約の締結

三溪橋線(三溪橋)ほか1橋りよう修繕工事
工事費5千137万円

Q. 農業の新規参入の対応策を

A. 協議会の設立に向け検討する



汗を流す町内の若手メロン農家

管内の市町村では、担い手対策協議会等を設置し、新規就農者確保に向け努力されている。特に新規参入者は、人口減少地域において重要な担い手であり、各市町村が工夫を凝らしている。

質問

伊藤議員



農業の担い手対策
(新規参入)について

働き方が多様化する新たな時代、パラレルノーカーという新しいことばも創られており、「苦前に住み、リモートワークしながら農業もする」そんな時代が到来していると考ええる。

農業を守り、人口減少にブレキを掛けるためにも、行政主導による新規参入者に向けての研修や住宅などの受入態勢の整備、就農先の確保や支援と相談先の整備が必要。現在の担い手対策の状況と今後の対応策は。

*注 パラレルノーカーとは本業と並行して複数の仕事で収入をえる働き方「パラレルワーカー」をヒントにJAGグループ北海道が作った造語。農業体験希望者と農家をつなぎ、農業の人手不足解消と農業を副業の選択肢としてもらうのが目的

答弁

富士町長



本町農業に対しては、担い手の負担軽減を図るため、国費事業である「産地生産基盤パワーアップ事業」や「担い手確保・経営強化支援事業」などにより、スマート農業の推進等に努め、効率化及び省力化を支援してきた。

本町の農業者の平均年齢は現在59歳で、65歳以上で後継者のいない農業者は約22%。

経営体当たりの農業所得は比較的高いため、農家の継承やUターン就農も近隣町村に比べ多く、現在のところ耕作放棄地などは発生していない。

新規参入者には、苦前町新規就農対策事業を設けているが、農地の集積が機能しており、新規参入者が農地を取得して営農を開始することは現状困難となっているが、人口減少が続き新規参入者の確保

ができなくなる可能性もある。本町では、農繁期に建設業から農業へ労働力を供給する一方、建設業においても冬期間の除雪作業オペレーターに対して、農業者の労働力を供給するなど、相互扶助の関係にある。

町外からの新規定住者の受け入れは、地域の活性化において不可欠であるが、ポストコロナを見据え、地方・地域に対する認識や、「半農半X」の取組みなど、働き方に対する考え方も変わってきている。持続可能な本町農業の推進のため、今後の農地のあり方や新規参入者確保に向けた各種助成制度の拡充など、関係機関と協議の上、苦前町担い手対策協議会なるものの設立に向けて検討する。



スマート農業農業ラップ巻き機械

Q. 古丹別中学校廃校後の検討を

A. 統合が完了してから検討する



質問

早川議員

統合後の中学校校舎の活用策は

公立学校配置計画により、令和5年4月に古丹別中学校が廃校となるが、その後の校舎・敷地等の有効活用に関して伺う。

①令和5年3月末までのスケジュールは。

②道内廃校利活用の実態を見ると、対象62校のうち、教育・文化・体育施設が41%、地域住民向け施設が22%、福祉施設等が15%となっており、管内では天塩町が廃校小学校4校を地区の社会教育会館として利用。また、文部科学省が実施する「みんなの廃校プロジェクト」は、滝上町などの自治体が活用している。これらの施設の発意者は自治体が最も多いが、地域住民の声を

外すことは出来ず、中学校統合まで2年を切った今、地域住民プラス行政による校舎活用検討委員会の設置が必要と考える。

③平成17年度に地方再生法が施行され、公立学校の廃校校舎等の転用の弾力化が図られ、外国人研修施設・自然体験施設・農産物加工施設・福祉施設など、自治体の裁量による多種多様な用途での活用や民間事業者による運営も可能になっている。

地域の学校は、教育施設としてだけではなく、地域コミュニティの中核施設として貴重な公共的財産であり、廃校は子育て世代の転出や地域コミュニティの衰退を加速させる可能性があるため、地域の再生につながる廃校利用が一番望まれる。今年度は隣接地に介護施設が建設され、今後古丹別市街地がどの様に形成されていくのか住民が一番心配している所であり、その為にも廃校校舎利用に至るプロセスを明確にする必要があると思うが、これらの提示はいつ頃か。



答弁

池田教育長

令和5年4月1日より、古丹別中学校は教育委員会から町部局へ移管となる。

現在は教育委員会の所管であり、統合準備委員会を設置、生徒や保護者が安心して学校生活を送れるように、統合に向けた取り組みに最善を尽くすべく事務を進めている。現段階において、統合後の活用は検討していないが、校舎・敷地ともに大きな施設であり、地方公共団体にとって貴重な財産である。

明確な検討スケジュール等を示すことは必要となるが、活用可否の方向性については、生徒に精神的な不安を与えないためにも、統合が完了してからを考えている。



答弁

富士町長

古丹別中学校は令和5年3月まで存続することから、校舎利用については、私の考えを提示する段階にない。閉校後の利活用は解体などの費用対効果を考え、町民会議等を開催して町民の声を広く聴いて決断したい。



令和5年に統合される古丹別中学校

Q. ①一次産業従事者向けの町営宿舍建設を ②電気自動車の導入について、まず公用車で検討を

A. ①民間住宅施設で対応し、今後検討していきたい
②公用車として導入するのは現状では難しい

質問

磯崎議員



外国人技能実習生について

「苦前町ホタテ養殖漁家における労働力不足の現状分析」平成25年調査・水産指導所研修報告では、海上作業員33名（平均年齢38歳）・陸上作業員75名平均年齢 男性57歳、女性58歳（この中で60歳以上60%を占める。）となっており、労働者不足の対応策として、外部からの労働力を投入する（Uターン、Iターン、外国人労働力など）と結んでいた。現在の労働力だけでは、養殖業も継続していけない状況にあるため、完全に研修生にシフトしてこの危機を乗り越えようとしている業者もある。町では、定住促進空家活用助成しているが、町内の農業・漁業等全職種を対象とした町営の宿舍の建設を検討願う。また、苦前町空屋対策推進協議会等でも外国人技術研修生を対象として今後検討願う。

たい。

答弁

富士町長

ホタテ養殖業は、苦前地区8軒、力屋地区4軒の12軒が操業しており、経営者の平均年齢は58.6歳となっている。労働力不足の解消に向け、外国人技能実習生を受入れる事業者が増えているが、コロナ禍における入国制限により入国できず、全国的にも計画どおりの受入れが整っていない状況である。外国人技能実習生の受け入れ環境支援は、今後も国や北海道の制度政策に注視しながら、支援体制を整え、研修先として選ばれる環境づくりを進めて参りたい。住宅政策は民間主体が重要であることから、苦前町安心快適住まいづくり促進事業、苦前町定住促進空家活用事業、苦前町世帯間賃貸住宅建設支援事業等の各種民間住宅施策を推進し、また、町営住宅直接供給は、苦前町公営住宅等長寿命化計画において、長期的人口推計に基づく人口減少を見据え、町営住宅管理戸数を段階的に縮減し、維持管理の負担を軽減していく。外国人技能実習生の町営宿舍の整備は、一時居住需要の

質問

磯崎議員

風力発電の先駆者について

規模や恒常性、持続性等の検証や確定に時間を要するため、苦前町一次産業就労支援共同住宅建設補助金など、民間住宅施策で対応したいが、状況によっては、ポストコロナ時代に向けた検討課題として今後取り上げていきたい。空家対策については、苦前町空家等対策推進協議会を本年5月に開催し、苦前町空家等対策計画を策定した。空家の利活用の促進を重要な対策として位置付けており、空家バンク等による流通促進、修繕による活用促進、幅広い用途の検討等を推進すべきものとしており、外国人技能実習生等の労働力の受入れ施設整備の一環として空家活用は本町の課題のひとつとして位置付けて、今後解決に向け議論する。

苦前町は、道内でも早くから「風力発電を取り入れた町」であり、町営風力発電4号機の稼働率は良く、昨年から町民還元として一般ごみ袋の助成が始まり、さらに今年度は生ごみ袋も助成を予定。町民還元の一貫として「電

答弁

富士町長

気自動車の購入助成制度」を創設できないか。公用車の電気自動車の試験導入の考えは。

脱炭素社会に向かつて、再生可能エネルギーの時代が来ることは間違いない。二酸化炭素や排ガスを排出しない電気自動車の普及は、今後の社会において必要不可欠である。しかしながら、現状に鑑みると、普及するにはもう少し時間を要する状況である。

公用車については、購入時のコスト高や冬期間の航続距離、電池の更新時期等の車両に係るランニングコストの面や、吹雪の多い積雪地域で課題も多く、風力発電などからの充電コストなどを比較すると有利とは言えず、公用車としての導入は現状では難しい。



順調に稼働する町営風車

安心安全な配水を ～ 苫前臨海配水池更新～ 町内投票所の統合に向けて

**臨海地域
特別委員会**

6月3日
開催

令和2年度新日本海地域交流センター（ふわっと）事業報告



令和2年度の報告がなされたふわっと

**総務産業
常任委員会**

6月3日
開催

令和2年度ななかまどの館事業報告

● 未来港公園管理棟（トイレ棟）膜屋根張替工事

予算額 1,623万円

● 令和2年度ふるさと応援寄付金報告



令和2年度の報告がなされたななかまどの館



未来港公園管理棟テントの破損状況

● 風力発電事業収益からの町民還元について

8月1日より生ごみ袋、生ごみ処理手数料の80%を還元
補正額 145万円増額

● 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化しているため、国から生活支援特別給付金を支給

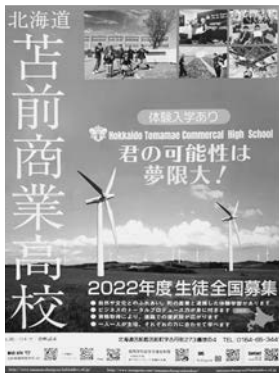
支給額 児童1人に5万円
● 公民館、公民館図書室ガラス破損・車両の破損修理

ガラス修繕料 46万円
車両修繕料 27万円
建物災害共済・自動車損害

共済に事故報告中で確定後補正予算計上

● 苫前商業高等学校道外生徒募集

令和4年度の新入学生徒が10名を下回った場合、再編整備の対象となるため道外からも募集する



北海道
苫前商業高校
全国募集が始まった苫前商業高校

● 水田麦・大豆産地生産性向上事業

総事業費 5,000万円
事業内容
普通型コンバイン 1台
うち町補助金 2,273万円

● 強い農業・担い手づくり総合支援交付金

総事業費 1,116万円
事業内容 作業機 4台
うち町補助金 300万円

● 臨海配水池更新事業

用地購入費 2万円



老朽化した苫前地区臨海配水池

● 空家対策事業

定住促進空家活用事業の改正を含め「苫前町空家等対策計画」を策定

●町営住宅使用料等滞納処理
滞納者への対応として法律事務所と委任契約を締結し滞納額の請求を実施

●地方公営企業法適用移行業務予算組替

委託料で予算計上していたものを負担金、補助及び交付金へ予算組替する

●苦前町営住宅条例の改正

過疎地域自立促進特別措置法が改正されたことから条例改正をおこなう

●町営住宅管理費の委託料への予備費充用

町営住宅残置物処理に急を要したため予備費を充用

●平成24年度ふわっと物品購入に係る外部通報事案に関する調査報告

●苦前地区コミュニティセンター外灯設置・備品購入追加補正

外灯設置費 96万円
備品購入費 68万円

●苦前町選挙投票区及び投票所の統合

上平を苦前に、長島、香川、九重、三溪、岩見、東川、小川を古丹別に統合し、投票区数を現状の11から4に整理する

第1回 臨時議会

4月26日
開催

〔一般会計〕

補正額 5,751万円

総額 42億9,977万円

〔国民健康保険特別会計〕

補正額 86万円

総額 4億4,543万円

●専決処分の報告と承認

・ワクチン接種記録システム連携の改修作業
・風車建替に伴い、上平共同利用模範牧場の監視舎2棟の敷地を資材置場や作業場所として使用の要望があり、解体撤去を条件に無償譲渡する。

質村本委員

指定管理者側から今後居住の希望があった場合、町の方針は。

宮野農林水産課長

指定管理制度へ移行したため、JAのもい苦前支所の考え方に合わせる。セキユリティー面は、監視機材・ゲートを検討

●動産の取得

し尿等収集運搬車

2,780万円

●工事請負契約

臨海配水池更新工事

2億3,265万円

ハラダ・橋場・北海道三菱

經常建設共同企業体



上平牧場宿舍解体後に設置された作業所など

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

本道の森林は、全国の森林面積の約4分1を占め、国土保全、地球温暖化防止に向けて大きな役割を期待されている。

森林の多面的機能を持続的に発揮し、2050年カーボンニュートラル実現に貢献するため、森林づくりを担う人材育成など必要な支援の充実強化を強く要望する。



衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・文部科学大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・国土交通大臣・環境大臣・復興大臣

編集後記

オリンピックが始まり、今年も小学校、中学校、子ども園と運動会、体育大会が行われ、体を動かす子どもたちを見ると体がうずく。私も青年時代には、野球やスキー、サーフィンなどで積極的に体を動かしていたが、コロナ禍もあり、最近では減ってきている。ちよつとの用事ですら車を使い、応援するばかりのスポーツ観戦。

これではいけないと思いつつも、中体連や高体連、高野連など青春をかけた姿を見て感動し「よし！おじさんだつて」と運動への意欲が高まる。でも結局のところ体を動かさずに時間に追われる日々を過ごす今日のごころである。

こんな時だから、リフレッシュし、健康で心豊かに過ごすため、大いなる田舎町「とままえ」は、もつてこいの素晴らしいフィールドである。みんなで体を動かせる夏にしましょう。

文責／西 大志

まちなかギャラリー



グループホーム優芽利用者の共同作品

【あじさい】

花紙をまるめ貼り絵であじさいを描きました。



【七夕】

花紙をまるめ貼り絵で七夕を描きました。



【DIY】

洗面用具入れの棚に塗り絵を貼り装飾しました。



【花火】

花紙をまるめ貼り絵で夜空に咲いた花火を描きました。



【ひまわり】

花紙をまるめ貼り絵でひまわりを描きました。



【紅葉】

折り紙を切って紅葉の風景を表現しました。



「広報とままえ」に皆様からの声をお待ちしております。

身近な珍しい出来事、珍品、趣味、作品などのほか広報誌に対する意見・要望などもお寄せいただければ幸いです。

お問合せ 総合政策室総合政策係 ☎：0164-64-2040 FAX：0164-64-2142

新型コロナウイルス感染防止にご協力をおねがいします。 「新しい生活様式」の実践をお願いします！

ご自身の症状に不安がある場合は、次の窓口にご相談ください。

「北海道スタイル」はじめよう



手を洗おう



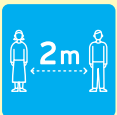
咳エチケット



換気しよう



3つの「密」をさげよう



いまは、きよりととって



テイクアウトやデリバリーも

	電話番号	開設時間
○厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター	0120-761-770 (フリーダイヤル)	9:00~21:00 (土日祝も含む)
帰国者・接触者相談センター		
○北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター	0120-501-507 (フリーコール)	24時間 (年中無共)
○留萌保健所	0164-42-8327	平日 8:45~17:30
○厚生労働省電話相談窓口	0120-565-653 (フリーダイヤル)	9:00~21:00 (土日祝も含む)